

●はじめてのキャラ弁づくり 3月7日(木)

ふじみ野交流センターで、キャラクター弁当の基本とテクニックを学ぶ講習会が行われ、12人が参加しました。

ピンセットやつま楊枝を使う細かな作業でしたが、彩り鮮やかなお弁当が完成しました。

当日はNHK総合テレビの「お元気ですか日本列島」の取材を受け、講習会のようすが全国放送されました。



●富士見れんげ保育園竣工式 3月10日(日)

市内で15番目となる認可保育園が完成し、竣工式が行われました。

施設の運営は民間(社会福祉法人秀和会)で、今後も行政と民間事業者が協力して待機児童ゼロを目指した取り組みを継続していきます。



●市立中学校卒業式 3月15日(金)

市内中学校の卒業式が行われました(写真は勝瀬中学校)。

卒業証書を受け取った皆さんは、列席の在校生から大きな拍手で見送られました。



●西中学校出身 山口瑠偉選手(浦和学院)が甲子園で活躍

第85回選抜高等学校野球大会で、浦和学院が埼玉県勢45年ぶりの快挙となる初優勝を飾りました。そのチームの主力メンバーとして、西中学校出身の山口瑠偉選手がチームとともに全国制覇の栄冠に輝きました。



●寄付をいただきました 敬称略

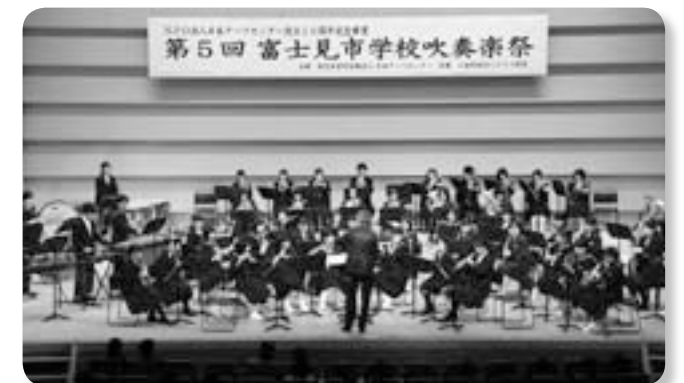
黄色いワッペン(写真左)
株式会社みずほフィナンシャルグループ
株式会社損害保険ジャパン
明治安田生命保険相互会社
第一生命保険株式会社
東日本大震災被災地支援活動応援金(写真右)
南畑公民館利用者の会



●第17回富士見市親善学童野球大会 3月17日(日)

富士見市少年野球連盟が主催する親善野球大会に、市内外から40チームが参加しました。

開会式では元気な入場行進に続き、毎日新聞社のヘリコプターから始球式用のボールが落下傘で投下され、球児たちから歓声があがりました。



●富士見市学校吹奏楽祭

3月26日(火)

市内中学校吹奏楽部の皆さんが、日ごろの練習成果を発表する吹奏楽祭がキラリふじみで開催されました。



フィナーレでは、宮内庁式部職楽部指揮者であり、富士見市文化芸術アドバイザーの北原幸男さん(市内在住)の指揮で市内6中学校の選抜生徒による演奏が行われ、会場からは大きな拍手が送られました。

子どもたちに良い文化の提供を！
自らの手で創造する喜びを！
この言葉とともに40年にわたるさまざまなボランティア活動に携わってきました。
昭和43年、公民館講座の「児童文学を読む会」として出発し、人形劇は地域の民話を再創作した「太郎兵衛の墓」を人形劇にするに決意したことから始まりました。昭和49年に行われた第1回子どもフェスティバルでは、およそ千人の子どもの前で人形劇「あぶないさぎどん」の公演を行ったことは今でも良い思い出です。この「あぶないさぎどん」の「どん」をとり、現在の「富士見市人形劇グループどん」となりました。私は子育てがひと段落するに従

高橋 秀子さん

鶴瀬西在住

- 富士見市人形劇グループどん代表
- 富士見市コミュニティ協議会会長



文化芸術

地域が主役のまちづくり

地域サポーターの紹介

協働推進課 ☎256

以前、公演ポスターを運んでくれた印刷所の青年が「僕、子どもたちのおばさんたちの人形劇を見たことがあります」と声をかけてくれました。私は「どうもありがとう。あなたは今いくつ？」と聞くと「20歳です」とさわやかな声が返ってきました。こんな何気ない会話から、温かい気持ちで一杯になります。

現在、「どん」は人形劇の公演のほか、富士見市コミュニティ協議会の活動などを行っています。冒頭の言葉が終生変わらぬ目標としてこれからも頑張っていきます。



「おおきなかぶ」の公演のようす